



2019年10月4日

各位

会社名 株式会社クラウドディアホールディングス
代表者 代表取締役会長兼社長 倉正治
(コード番号: 3607 東証第1部)
問合わせ先 執行役員 経営企画部長 安田 佳悟
TEL 075-315-2345 (代表)

2019年8月期通期連結業績予想値と実績値との差異及び 法人税等調整額の計上に関するお知らせ

当社は、2018年9月28日に公表いたしました2019年8月期通期連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2019年8月期決算において、下記のとおり法人税等調整額を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2019年8月期通期連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,000	百万円 260	百万円 300	百万円 150	円 銭 17.31
当期実績(B)	12,359	308	399	61	7.04
増減額(B-A)	359	48	99	△88	—
増減率(%)	3.0	18.8	33.2	△59.1	—
(ご参考)前期実績 (2018年8月期)	12,251	196	270	10	1.23

差異が生じた理由

当企業グループの2019年8月期通期連結業績は、売上高がホールセール事業部門3,346百万円(予想比0.5%増)、コンシューマー事業部門9,012百万円(同3.9%増)、合計で12,359百万円(同3.0%増)となりました。

ホールセール事業部門の売上高は、製・商品の卸売り事業で苦戦しましたが、リース事業(貸衣裳店向けレンタル)が堅調に推移したこと等から、前回予想を上回りました。

コンシューマー事業部門の売上高は、リゾート挙式事業において主にハワイにおける海外ウェディングのプロデュース等を行っておりました連結子会社(株式会社ファース

トウエディング)の株式を譲渡したこと等から取扱高が伸び悩みましたが、衣裳事業が堅調に推移したこと、写真・映像事業において2019年3月1日を効力発生日とする2つの事業承継案件(内田写真株式会社からの会社分割及び株式会社有賀写真館からの事業譲渡)の実施による売上寄与があったこと等から、前回予想を上回りました。

利益面では、上記の事業承継案件の実施等により販売費及び一般管理費が前回予想よりも大きく増加したものの、利益率の高いリース事業、衣裳事業が堅調に推移したこと等から、営業利益は308百万円(同18.8%増)、経常利益は399百万円(同33.2%増)と前回予想を上回りました。

一方で、親会社株主に帰属する当期純利益は、下記「2. 法人税等調整額の計上とその内容」に記載のとおり、法人税等調整額124百万円を計上したことにより税金費用が増加したこと等から、61百万円(同59.1%減)と、前回予想を下回りました。

なお、期末配当金につきましては、2019年6月27日にお知らせいたしました配当予想を修正せず、1株当たり10円00銭(普通配当8円00銭、記念配当2円00銭)を予定しております。

(ご参考) 事業部門別売上高の状況

(単位:百万円)

	通期連結業績 予想値	当連結会計年度 実績値	増減	増減率 (%)
ホールセール事業部門 売上高	3,330	3,346	16	0.5
製・商品売上高	2,030	1,935	△94	△4.7
レンタル収入等	1,300	1,411	111	8.6
コンシューマー事業部門 売上高	8,670	9,012	342	3.9
衣裳取扱収入	3,310	3,453	143	4.3
リゾート挙式売上高	2,300	2,072	△227	△9.9
式場運営収入	2,530	2,455	△74	△3.0
写真・映像・美容売上高	530	1,031	501	94.7
連結売上高	12,000	12,359	359	3.0

(注) 上記の売上高の数値につきましては、事業部門内及び事業部門間の取引消去後となっております。

2. 法人税等調整額の計上とその内容

当企業グループは、連結子会社の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2019年8月期決算において当該連結子会社の繰延税金資産の一部を取り崩したこと等により、法人税等調整額124百万円を計上いたしました。

以 上